世界の幸せをカタチにする。
Creating Peace & Happiness for the World
Musashino University
武蔵野大学 学術機関リポジトリ
Musashino University Academic Institutional Repository

シンポジウム趣旨説明

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2022-10-07 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 樋口, 範雄 メールアドレス: 所属:
URL	https://mu.repo.nii.ac.jp/records/1917

武蔵野大学しあわせ研究所・法学研究所　共催シンポジウム

高齢者学から実践へ
――「古稀式」の開催に向けて――

（本稿は、2022年3月3日にオンラインで開催されたシンポジウムの記録である）

シンポジウム趣旨説明

武蔵野大学特任教授
樋　口　範　雄

樋口　それでは時間になりましたので、今日のこのシンポジウムを始めたいと思います。私は、武蔵野大学で高齢者法というものを教えさせていただいている樋口といいます。『高齢者学から実践へ　－「古稀式」の開催に向けて－』というシンポジウムのタイトルから申し上げますと、これについて「何なんだ、古稀式は」、という話もあると思うんです。古稀式という言葉も多くの人は聞いたことがないでしょうし。ともかく、高齢者学、あるいは高齢者の問題について考えるということを、大学を主体としてやってみたいということなのです。去年のちょうど1年前なんですが、『高齢者とビジネスと法』というシンポジウムを武蔵野大学で行いまして、その参加者の中から自治体も一緒になってこういう、成人式ではなくて一種の第二成人式なんですが、こういうようなものを考えたらどうかという声が上がり、それに動かされて、そういうことができたらいいなと考えるようになりました。実際にまだオミクロンうんぬんという話もあるのでなかなか

難しいところがあるんですが、今年の 9 月に四つの自治体、武蔵野の自治体ですけれども、武蔵野市、三鷹市、小金井市、西東京市という四つの市に後援をいただいて、武蔵野大学の武蔵野キャンパスで、可能であれば対面式で古稀式というのを行おうというのです。単なるお祝いの式ではなく、古稀を中心とした高齢者の方に集まっていただいて、今後の生き方を一緒に考えようという試みを今、企画しているわけです。

その予定している古稀式の半年前になりますけれど、今日はそれに関連するシンポジウムを一つ、やろうということであります。一応スケジュールだけ簡単にまずご紹介して石上先生につなぎたいと思っております。開会のあいさつを石上先生という武蔵野大学の副学長でもあり、しあわせ研究所も束ねている先生にこれからごあいさつをいただきます。それで、その後のパネルとしては 4 人の方にお話をいただきます。私自身、これら 4 人の方の話というのは伺ったことがなくて、今日本当にいい機会だと思って楽しみにしております。それぞれの人を紹介するほどの能力が私にはないんですが、ごく簡単に。

最初の秋山さんという人は、日本のジェロントロジーの先駆者の一人だということになります。ジェロントロジーというのは、老年学とか高齢者学のことで、秋山先生は若かりし頃、日本を離れてアメリカへ行ってドクターも取ってアメリカで長く教えてこられたという人です。そのときにアメリカに行かれた頃が、アメリカというのは何でも早いので、1960 年代から 70 年代に、もう高齢者問題というのが大きな学問的な関心、学問だけじゃないんだと思いますが、大きな関心を呼んでいたという、そういう波の中へ秋山先生は飛び込んで行かれたということのようです。

次に辻先生ですね。元厚労省のトップ（事務次官）でもあり、介護保険制度、その他、こういう社会保障制度の基本を形作るためにずっと努力してこられた先生ですが、辻さんは、今はもう役人ではないんですが、役人を離れてもずっとこの問題について、いろんな形で関わって発言しておられる方

なので、ぜひともその話を一緒になって聞きたいというふうに考えました。

休憩を10分程度入れて、今度は慶應の法科大学院で教えておられる西さんという人が民法の専門家なんですけれども、高齢者法というのを今年度初めて教えてみたという話を聞きまして、それは、ぜひともその経験を皆さんに伝えていただきたいと思いお願いをいたしました。

4番目に、小此木先生という、これは地域でずっと超高齢社会におけるシニアを生かす、まさに法的支援を実践としてやってこられた先生なので、そのお話も伺うことができればありがたいということでご登壇いただきます。この4本の報告を伺って、その上で、何らかの形でディスカッションができればいいというふうに考えております。閉会のあいさつは本学の池田先生にお願いしています。

今日はお忙しい中、皆さまにご参加をいただいたことで本当に感謝しております。記録のために録画はさせていただきます。なお、参加者の方は今までも注意事項の掲示がありましたが、ミュートで一応、画像もオフという形にして、安定した環境でお話が聞けるという形にしていただきたいと思っております。それでは、早速、今日のシンポジウムの開会のごあいさつを、石上先生にお願いいたしたいと思います。よろしくお願いします。